

「文化財 IPM コーディネータ」資格の創設について

平成 23 年度に公益財団法人文化財虫菌害研究所では「文化財 IPM コーディネータ」資格を創設しました。
近年、博物館、美術館、図書館、資料館、文書館等においては、薬剤に頼るだけでなく適切な環境管理をあわせて行うことによって虫菌害を防除する IPM（総合的有害生物管理）が推奨されています。
文化財に関する IPM は、主に清掃・温湿度調整などの環境管理による物理的防除と薬剤や炭酸ガスなどを用いた化学的防除を合理的に組み合わせて行い、文化財に加害する害虫をなくし、カビによる文化財への目に見える被害を防止することを目指すものです。

このような「文化財 IPM」の具体的な方法・作業は、対象となる文化財の種類や収蔵・展示施設の状況などによってさまざまですから、これを継続して適切に行っていくためには博物館・美術館・図書館等において展示、収蔵品の保管・管理、施設の維持・管理に携わる方、それらの業務を支援するボランティア、文化・文化財行政担当者および文化財に関する生物被害防除業務に携わる方等で、それぞれの立場で自ら「文化財 IPM」を実行したり、文化財の所蔵者等からの相談に応じて助言・提案などをしたりすることができる人材（「文化財 IPM コーディネータ」）が必要であると考えられます。

「文化財 IPM コーディネータ」は、虫やカビあるいはそれらの調査法・防除法・施設管理などについての正しい知識・技能を身につけていることが必要ですが、それらのすべてに関する専門家であることを必要とするものではなく、それらの概要および「文化財 IPM」全体についての正しい理解のもとに必要なときに各分野の専門家と相談しながら適切に「文化財 IPM」を進めていくことができる人を考えています。

当研究所では、この「文化財 IPM コーディネータ」の人材育成とともに「文化財 IPM」の普及をめざして、講習・研修・試験を経て一定のレベルに達した方については「文化財 IPM コーディネータ」資格認定をしております。

「文化財 IPM」に関する業務に従事されている方、関心をお持ちの方多数のご参加をお待ちします。

文虫研発第 R 2 - 6 0 号
令和 2 年 1 0 月 2 0 日

各位

公益財団法人 文化財虫菌害研究所
理事長 三浦 定俊



令和 2 年度「文化財 IPM コーディネータ」資格取得のための講習と試験の実施について

当研究所では、平成 23 年度に「文化財 IPM コーディネータ」資格を創設し、毎年資格取得のための講習会と試験等を実施しております。

文化財に関する IPM（総合的有害生物管理）は、博物館、美術館、図書館、資料館、文書館等において、収蔵・展示されている文化財、書籍等とそれら施設の良い保全・管理を、薬剤だけに頼るのではなく、主に清掃・温湿度調整などの環境管理による物理的防除と薬剤や炭酸ガスなどを用いた化学的防除を合理的に組み合わせて行い、文化財に加害する害虫をなくし、カビによる文化財への目に見える被害を防止することを目指すものです。

「文化財 IPM」の具体的な手法は、対象となる文化財等の種類や収蔵・展示施設の状況などによってさまざまですから、これを実行するには一定の知識・技術をもった者が、適切に作業内容や行程を企画し、進行を管理する必要があります。

「文化財 IPM コーディネータ」は、このような「文化財 IPM」についての正しい理解と知識・技術を身につけ、必要なときには各分野の専門家と相談しながら自ら「文化財 IPM」を実行したり、文化財の所蔵者等からの相談に応じて助言・提案などをしたりすることができる人材を想定しています。

「文化財 IPM コーディネータ」資格は、このような人材養成を図るとともに、従来の文化財虫菌害防除作業主任者資格とは別個のものとして、資格の認定・登録を行うものです。

資格は、通常 12 月頃に行う講習会と試験を受講・受験し合格した後に、翌年の 6 月頃に行う「文化財の虫菌害・保存対策研修会」を受講した方に与えられます。

本年 10 月現在約 540 名の「文化財 IPM コーディネータ」が資格認定・登録されております。この資格者が増えることによって、従来のガス燻蒸だけではない、新しい博物館、美術館、図書館等の文化財等と施設管理の手法が、広がっていくことが期待されます。

今年度は、コロナ禍への対応のため次のとおり講習のみ会場を使用して実施し、試験については試験問題と解答用紙を郵送し、各自解答用紙に解答を記入した上で当研究所へ返送していただく「郵送方式試験」の方法をとることといたします（今後の状況次第で開催の変更もあり得ますことをご承知おきくださいますようお願い申し上げます）。

文化財等に関する IPM に関心をお持ちの方多数のご参加をお待ちしております。

「文化財 IPM コーディネータ」資格の概要

資格登録までの手続、要件等は次のとおりです。

■講習・研修および試験

「文化財 IPM コーディネータ資格取得講習会」を 2 日間受講し、「文化財 IPM コーディネータ資格取得試験」を受験します。試験に合格し、合格後の 2 年間に開催する「文化財の虫菌害・保存対策研修会」を受講することで資格の申請ができます。試験に合格する前に研修会を受講しても、要件となりませんのでご注意ください。

■登録等

上記の要件を充足し、申請により「文化財 IPM コーディネータ」資格を認定し登録し、「文化財 IPM コーディネータ証」を交付します。

■更新

「文化財 IPM コーディネータ」資格は、5 年ごとの登録更新が必要です。登録更新は、事前(更新を要する日の前 2 年以内)に「文化財の虫菌害・保存対策研修」(例年 6 月頃行われているもの)を受講していることを要件とします。

■受講料等

講習・試験・研修・登録および登録更新の手数料は次のとおりです。

「文化財 IPM コーディネータ資格取得講習会」受講料：20,000 円(会員は 18,000 円)

「文化財の虫菌害・保存対策研修会」受講料：28,000 円(会員は 25,000 円)

「文化財 IPM コーディネータ資格取得試験」受験料：5,000 円

「文化財 IPM コーディネータ」登録料：5,000 円

「文化財 IPM コーディネータ」登録更新料：5,000 円

第10回文化財 IPM コーディネータ資格取得のための講習会と試験

- 1 主催 公益財団法人文化財虫菌害研究所
- 2 後援 公益財団法人日本博物館協会
- 3 時期 令和3年1月7日(木)・8日(金)
- 4 会場 家の光会館 7階 コンベンションホール
(東京都新宿区市谷船河原町11)
- 5 対象 博物館・美術館・図書館・資料館・文書館等において展示、収蔵品の保管・管理、施設の維持・管理に携わる方、それらの業務を支援するボランティア、文化・文化財行政担当者および文化財に関する生物被害防除業務に携わる方等
- 6 定員 90名(収容人数195名)
受講希望者が定員を超える場合は、上記5の方々を優先し、あるいは同一団体から複数の希望者がある場合は人数調整をお願いする等により最終的な受講・受験者を決定することとしますので、ご承知おきください。
なお、一団体から2名以上希望する場合は、予め優先順位を決めて希望書を提出してください。
- 7 受講料・受験料
受講料 20,000円
当研究所維持会員(団体会員所属役職員を含む)は、18,000円です。

受験料 5,000円
- 8 受講・受験希望の受付
 - (1) 令和2年11月18日(水)まで(厳守)に「受講・受験希望書」(別紙)に必要事項を記入の上、当研究所へFAXまたは郵便でお送りください。
 - (2) 希望者の中から受講者を決定し、11月末日までに受講の申込み方法等を通知します。(今回受講していただくことができない方にもその旨を通知します。)
 - (3) 本資格の正式な登録には、本講習会の受講と試験の合格後に「文化財の虫菌害・保存対策研修会」(令和3年度または4年度実施のもの)の受講が必要です。

講習会

1月7日(木)

- | | | |
|-------------|-------------------------------|---------------------------|
| 13:00~ | 開講の辞 | |
| 13:05~14:05 | 文化財のIPM概論 | 公益財団法人文化財虫菌害研究所 理事長 三浦 定俊 |
| 14:05~14:20 | 休憩 | |
| 14:20~15:20 | 文化財の生物被害と加害生物およびレベルコントロールについて | 九州国立博物館 博物館科学課長 木川 りか |
| 15:20~16:20 | IPMから見た博物館等の施設管理 | 東京文化財研究所 名誉研究員 佐野 千絵 |

1月8日(金)

- | | | |
|-------------|--------------|--------------------------------|
| 10:00~11:00 | 温湿度環境の測定と解析 | 東京文化財研究所 保存科学研究センター前客員研究員 呂 俊民 |
| 11:00~12:00 | 虫の調査と環境の解析 | 一般財団法人環境文化創造研究所 主席研究員 川越 和四 |
| 12:00~13:00 | 昼休み | |
| 13:00~14:00 | カビの調査と環境の解析 | NPO 法人カビ相談センター 理事長 高鳥 浩介 |
| 14:00~14:15 | 休憩 | |
| 14:15~15:15 | 防除処理に関する基礎知識 | 公益財団法人文化財虫菌害研究所 研究員 岩田 泰幸 |
| 15:15~15:30 | 休憩 | |
| 15:30~16:30 | IPMの体制づくり | 九州国立博物館 名誉館員 本田 光子 |

試験方法

- (1) 事前に配付される講習テキストに沿って、2日間の講習を受講し内容を理解する。
- (2) 受講後に送付される試験問題に対応し、解答用紙に解答を記入する。
- (3) 解答後、解答用紙と試験問題を返信用封筒で当研究所へ返送する。
- (4) 当研究所は、返送された解答について採点と合否判定を行い、その結果を書面で通知する。